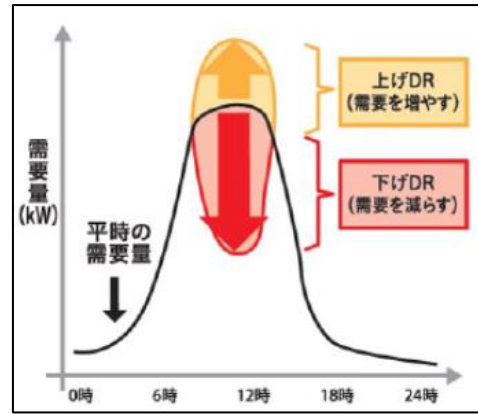


○デマンド・レスポンス（DR）への対応

DR は、需要制御のパターンによって、需要を減らす（抑制する）「下げ」DR と、需要を増やす（創出する）「上げ」DR の二つに分類されます。従来は、電力使用量を抑える「下げ」DR が主流でしたが、再エネの導入拡大によって電力供給が過剰となるタイミングで「上げ」DR を行い需要時間帯のシフトが求められています。

省エネルギーセンターは、生産設備やユーティリティ設備について、年間を通じた時間帯別の電力需要をもとに、設備運用の調整余地等を把握の上、「上げ」DR、「下げ」DR 要請に対応した効果的手法を提案します。



出典：資源エネルギー庁 HP